



株式会社フェローテック

2012年3月期 第2四半期決算説明会資料

2011年11月24日

(ジャスダック6890)

<http://www.ferrotec.co.jp/>

1. 当期連結決算においては、連結子会社・持分法適用会社は2011年1月～6月末の業績、フェローテック単体は、2011年4月～2011年9月末の業績を連結しております。
2. 本資料は、2012年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
3. 本資料は2011年11月24日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。



2012年3月期第2四半期業績報告

連結決算サマリー



百万円	2011年3月期 2Q累計		2012年3月期 2Q累計		前年同月比	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)
売上高	23,765	100.0	35,737	100.0	11,972	50.4
売上原価	16,254	68.4	25,688	71.9	9,434	58.0
売上総利益	7,511	31.6	10,049	28.1	2,538	33.8
販売管理費	5,267	22.2	6,484	18.1	1,217	23.1
営業利益	2,243	9.4	3,564	10.0	1,321	58.9
営業外収益	173	0.7	190	0.5	17	9.8
営業外費用	524	2.2	616	1.7	92	17.6
経常利益	1,893	8.0	3,138	8.8	1,245	65.8
特別利益	104	0.4	79	0.2	△25	△24.0
特別損失	81	0.3	402	1.1	321	396.3
四半期純利益	1,344	5.7	1,968	5.5	624	46.3
設備投資額	2,094	-	4,298	-	2,204	105.3
減価償却費	1,308	-	1,371	-	63	4.8

注 為替レート2011/3期2Q→2012/3期2Q : 米ドル 91.02円→81.78円 人民元 13.34円→12.52円(期中平均レート)

セグメント別売上高および営業利益



売上高 (単位:百万円)	2011年3月期 2Q累計		2012年3月期 2Q累計		前年同期比	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	増減額	増減率(%)
装置関連	13,006	54.7	14,695	41.1	1,689	13.0
電子デバイス	3,050	12.8	3,220	9.0	170	5.6
太陽電池	6,788	28.6	16,659	46.6	9,871	145.4
その他	919	3.9	1,163	3.3	244	26.6
合計	23,765	100.0	35,737	100.0	11,972	50.4

営業利益 (単位:百万円)	2011年3月期 2Q累計		2012年3月期 2Q累計		前年同期比	
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	増減額	増減ポイント
装置関連	1,370	10.5	1,878	12.8	508	37.1
電子デバイス	411	13.5	526	16.3	115	28.0
太陽電池	357	5.3	984	5.9	627	175.6
その他	126	13.7	218	18.7	92	73.0
全社消去	△22	-	△43	-	△21	-
合計	2,243	9.4	3,564	10.0	1,321	58.9

連結貸借対照表 ～資産～



(百万円)	2011/3期 期末	2012/3期 9月末	増減額
流動資産	36,133	48,979	12,846
現金・預金	7,310	13,438	6,128
受取手形及び売掛金	15,426	17,471	2,045
たな卸資産	9,312	12,968	3,656
固定資産	25,365	28,080	2,715
有形固定資産	19,204	22,320	3,116
建物及び構築物	4,538	4,583	45
機械装置・運搬具	6,319	7,179	860
工具、器具、備品	3,352	4,106	754
土地	2,792	2,725	△67
無形固定資産	2,812	2,546	△266
のれん	1,563	1,350	△213
投資その他資産	3,349	3,213	△136
資産合計	61,499	77,059	15,560

【流動資産増加の主な要因】

公募増資による現預金、売上増による売掛金、棚卸資産の増加
 主な棚卸資産
 真空シール:1,094百万円、石英:1,299百万円、サーモ:1,307百万円
 セラミックス:948百万円、太陽電池用製造装置:4,748百万円
 太陽電池用シリコン製品:1,018百万円

【有形固定資産増加の主な要因】

機械装置:主に、太陽電池用シリコン製品設備、坩堝製造設備
 工具・機器等:主に、真空シール設備、PV Cell設備
 建設仮勘定:主に、杭州晶鑫科技の増設

【無形固定資産の状況】

のれん償却額:
 上期実績:210百万円 下期予定:210百万円

【投資その他資産の状況】

投資有価証券期末時価評価により前期末比減少

連結貸借対照表 ～負債及び純資産～

(百万円)	2011/3期 期末	2012/3期 9月末	増減額
流動負債	25,848	35,021	9,173
支払手形及び買掛金	8,708	12,238	3,530
短期借入金	7,081	11,369	4,288
1年内返済予定の 長期借入金	3,753	3,226	△527
固定負債	10,086	7,408	△2,678
社債	150	-	△150
転換社債	1,800	400	△1,400
長期借入金	6,305	4,570	△1,735
負債合計	35,935	42,429	6,494
純資産	25,564	34,630	9,066
株主資本	27,362	36,364	9,002
評価・換算差額等	△2,701	△2,616	85
少数株主持分	903	882	△21
負債・純資産合計	61,499	77,059	15,560

【流動負債増加の主な要因】

仕入増に伴う支払債務の増加

【有利子負債比率の状況】 ()内は11/3期末時点の数値

短期借入+1年内長期借入	14,595百万円	(10,834)
長期借入+社債等	4,970百万円	(8,255)
合計	19,565百万円	(19,090)

【ネット有利子負債 6,127百万円 (11,780)】

【純資産項目】

株主資本:

四半期純利益: +1,968百万円

配当金支払額: △500百万円

新株予約権付社債の転換行使: +1,400百万円

公募増資・OAに伴う第三者割当: +6,134百万円

キャッシュフロー計算書



(百万円)	2011/3期 2Q	2012/3期 2Q
営業活動によるキャッシュフロー	527	2,460
税引前純利益	1,916	2,814
減価償却費	1,308	1,371
為替差損益(△:益)	120	△48
売上債権の増減(△:増加)	△3,909	△2,189
たな卸資産の増減(△:増加)	△2,052	△3,775
仕入債務の増減(△:減少)	2,955	3,355
その他	189	932
投資活動によるキャッシュフロー	△1,124	△4,701
有形固定資産取得による支出	△2,094	△4,298
有形固定資産の売却による収入	21	152
投資有価証券、有価証券の取得による支出	△8	△1
投資有価証券、有価証券の売却による収入	-	-
その他	957	△554
財務活動によるキャッシュフロー	1,457	8,331
短期借入金の増減額	1,702	4,329
長期借入れによる収入	1,838	426
長期借入金の返済による支出	△1,725	△1,962
株式の発行による収入	-	6,093
配当金の支払額	△296	△497
その他	△62	△58
現金及び現金同等物の増加額	573	6,127
現金及び現金同等物の期首残高	5,867	7,310
現金及び現金同等物の期末残高	6,440	13,438

【営業CFの状況】

純利益+減価償却: +4,185百万円
 売上増加に伴う流動資産の増加: △5,964百万円
 仕入増に伴う流動負債の増加: +3,355百万円

【投資CFの状況】

有形固定資産増加の主な内容
 ・上海子会社: 391百万円
 ・杭州子会社: 2,808百万円
 ・銀川子会社: 724百万円

【財務CFの状況】

短期借入金の主な内容
 ・追加運転資金
 長期借入金返済
 ・グループ全体の約定返済
 公募増資の実施
 ・主に太陽電池関連事業への設備投資資金

通期業績見通し



(百万円)	2011/3期	2012/3期	2012/3期	2012/3期と各数値の比較	
		期初予想	修正予想	2011/3期比(%)	期初計画比(%)
売上高	57,880	70,000	63,000	8.8	△10.0
営業利益	6,931	7,500	5,200	△25.0	△30.7
経常利益	6,290	7,200	4,200	△33.2	△41.7
当期純利益	4,483	5,000	2,700	△39.8	△46.0
設備投資額	5,036	7,000	7,000	—	—
減価償却費	2,655	3,355	3,000	13.0	△10.6

通期業績見通し(セグメント別売上高)



(百万円)	2011/3期	2012/3期	2012/3期	2012/3期修正値と各数値比較	
		期初予想	修正予想	2011/3期比(%)	期初計画比(%)
装置関連	27,693	27,232	25,360	△7.7	△6.9
真空シール	7,764	6,555	6,690	△13.8	2.1
石英製品	6,501	7,254	6,110	△6.0	△15.8
セラミックス	3,819	4,200	4,290	12.3	2.1
半導体用シリコン製品	848	-	-	-	-
EBガン・LED	4,122	4,082	3,910	△5.1	△4.2
ウエーハ加工	4,641	5,141	4,360	△6.1	△15.2
電子デバイス	6,917	6,727	5,280	△23.7	△21.5
サーモモジュール	6,442	6,271	4,900	△23.9	△21.9
磁性流体(FEB)、その他	475	456	380	△7.1	△16.7
太陽電池	21,151	33,835	30,110	42.4	△11.0
石英坩堝	3,654	5,635	5,380	47.2	△4.5
太陽電池用シリコン	6,185	8,480	7,630	23.4	△10.0
シリコン結晶製造装置	9,801	15,050	15,160	54.7	0.7
その他	1,510	4,670	1,940	28.5	△58.5
その他	2,117	2,206	2,250	6.3	2.0
合計	57,880	70,000	63,000	8.8	△10.0

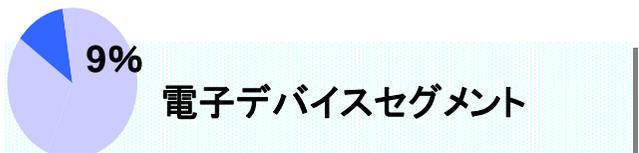
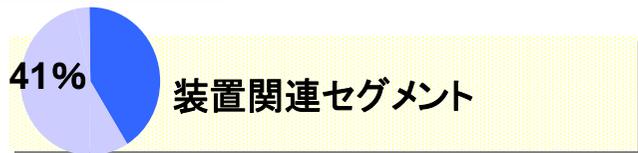
注 2012/3期より、半導体用シリコン製品を半導体ウエーハにまとめて表記



2012年3月期第2四半期業績報告

セグメント別の状況と今後の見通し

セグメント



真空シール



石英製品



セラミックス製品

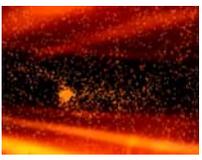
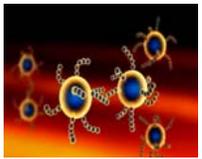


蒸着装置

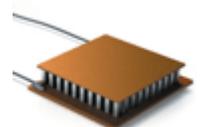


その他、半導体ウェーハ

磁性流体

サーモモジュール


シリコン結晶製造装置

単結晶用



多結晶用



消耗品群

石英坩堝



カーボン坩堝



太陽電池用シリコン(インゴット)

単結晶



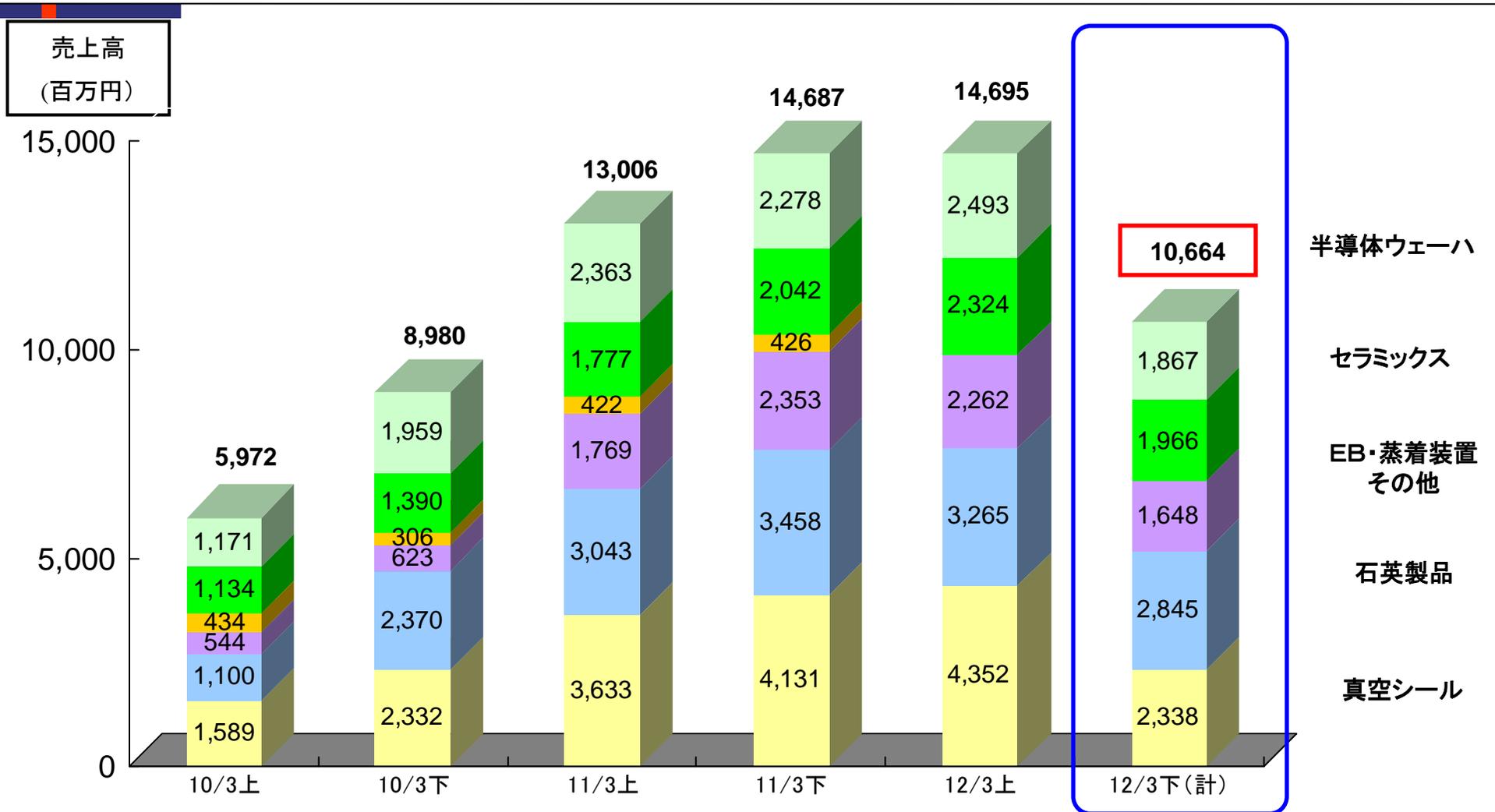
多結晶



PV用ウェーハ



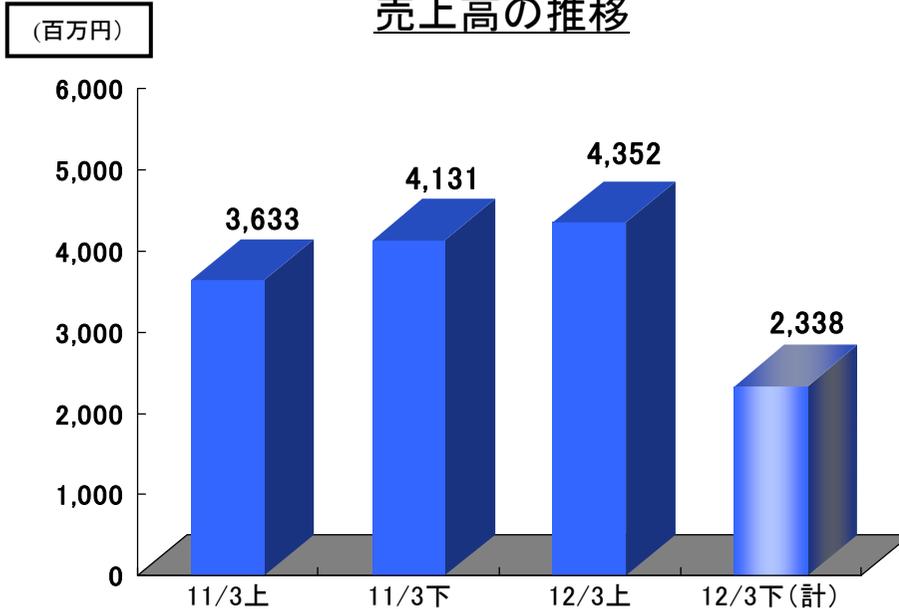
装置関連セグメント



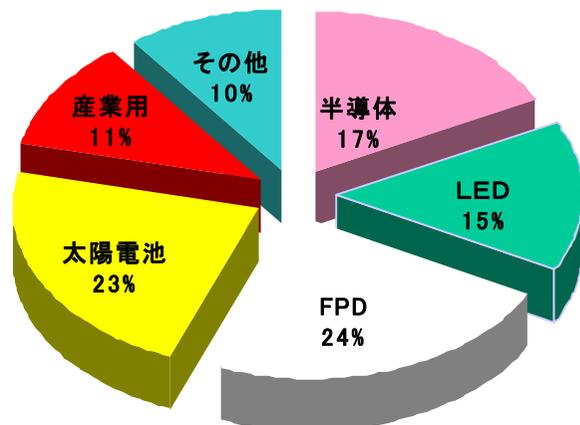
注) 半導体ウェーハは2011年3月期から旧CMSセグメントより装置関連セグメントへ移動しております。

■ = 半導体用シリコン製品は、2012/3期より、半導体ウェーハへ移動しております。

売上高の推移



真空シール関連事業の販売先業種別シェア



注) 産業用: 産業用真空装置、その他: 航空、医療、科学など

1. 12/3期上期の業績

- ・新興国の需要に牽引され半導体はアジア、米国市場が好調に推移し、国内市場も堅調に推移
- ・LED市場の設備投資が、ほぼ一巡
- ・LCD市場が軟調となり、有機EL向けのみ増加
- ・PV市場薄膜装置向けが徐々に減少

2. 12/3期下期の見通し

- ・半導体市場、設備投資意欲は急速に減衰
- ・LED市場は、製品価格下落により投資意欲は減衰
- ・FPD市場は、モバイル用のみ活況・EL-TV投資期待
- ・ロボットメーカー向けは、需要減少へ向かう
- ・PV薄膜装置向けの需要減少が目立つ

《施策》

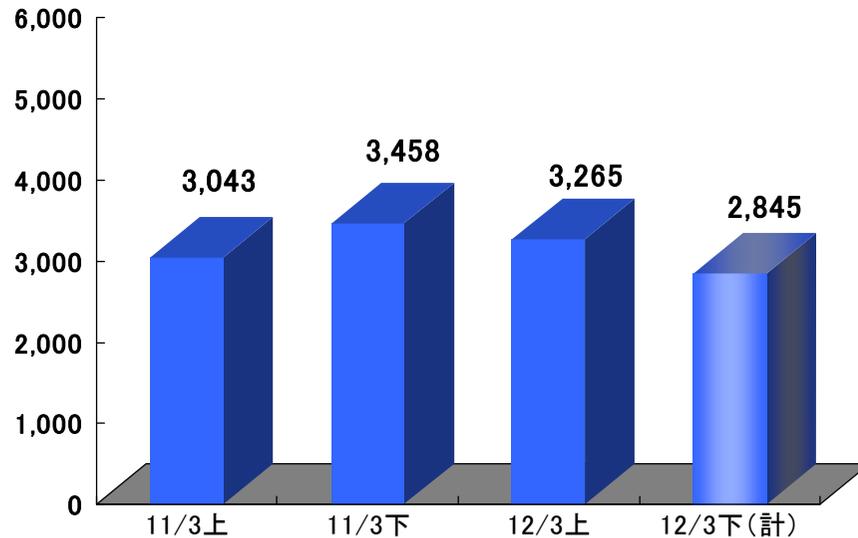
- ・海外の営業強化を展開中
- ・中国工場の固定費削減・在庫削減

石英製品の状況と今後の見通し

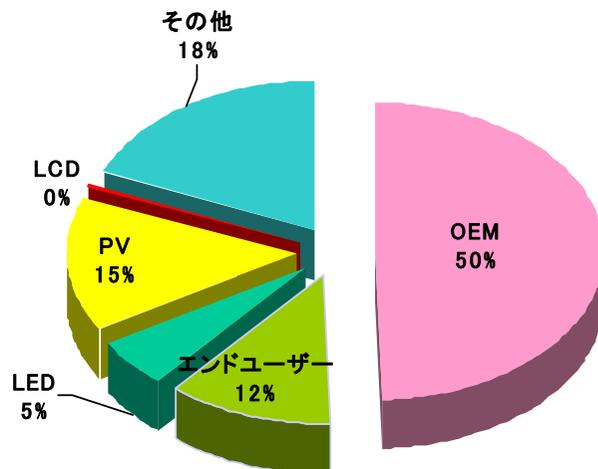


売上高の推移

(百万円)



石英製品の販売先業種別シェア



1. 12/3期上期の業績

- ・台湾メモリーメーカーの増産継続、受注継続
- ・アジア・国内ユーザー、米国大手OEMからの受注が堅調に推移
- ・LED市場MOCVD装置向け受注継続

2. 12/3期下期の見通し

- ・台湾は稼働率80%以下で減少傾向が認められる
- ・国内OEM、米国大手OEMから受注減少傾向
- ・MOCVD装置向けで需要一巡感も底堅い
- ・年明けのアジア再投資の計画に期待

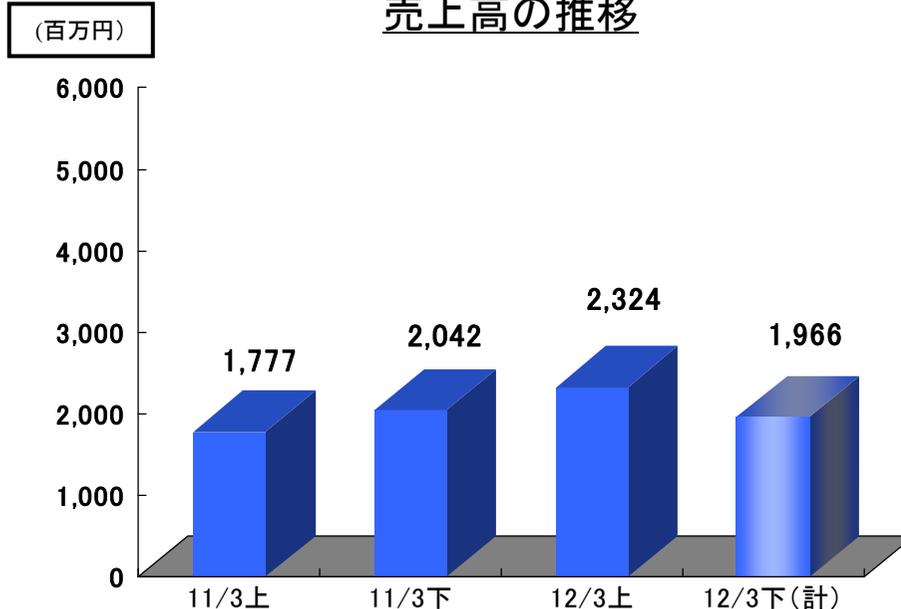
《施策》

- ・短納期対応を最重要視し、生産体制の見直し
- ・LED市場向けを取りこぼさず寡占化を狙う
- ・稼働率を落とさず需要急変に備えるも、固定費削減

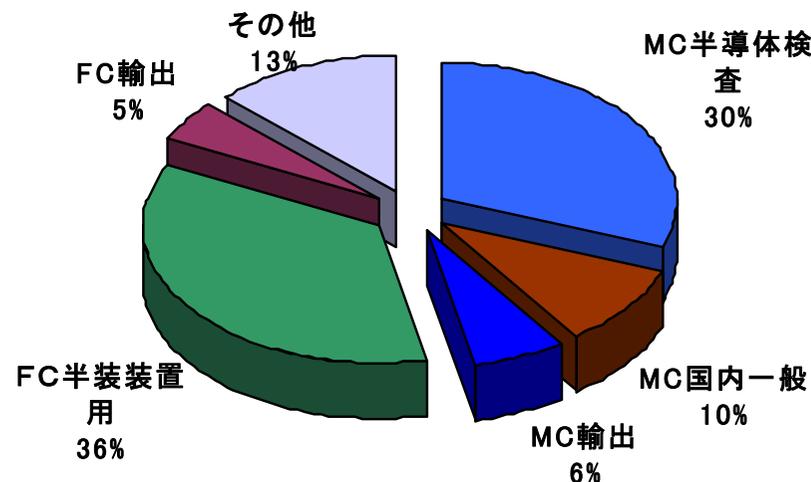
セラミックス製品の状況と今後の見通し



売上高の推移



セラミックス製品の製品別販売シェア



注) FC: ファイン・セラミックス、 MC: マシナブル・セラミックス(ホットベール)

1. 12/3期 上期(1-6月)の業績

マシナブル セラミックス “ホットベール”

- ・メモリー(N/Flash)・ロジック用とも、SmartPhone・Tablet端末の旺盛な需要に牽引され、日韓半導体メーカーを主体に前期比大幅に上回る売上を確保

ファイン セラミックス

- ・昨年央からの日台韓半導体メーカーの微細化・増産投資を受け、前期比上回る売上を確保

2. 12/3期 下期(7-12月)の見通し

マシナブル セラミックス “ホットベール”

- ・メモリー(N/Flash) : 上期環境に新用途拡大も加わり、数量は引続き堅調な需要を維持、価格面での値下げ要求は依然として強い
- ・ロジック用 : SmartPhone・Tablet端末用半導体の在庫調整局面に突入、4Q末からの需要回復に期待

ファイン セラミックス

- ・DRAM、LSI半導体の生産調整始まり期初より減産、大手各社の装置設備投資は大幅減速へ
- ・期央に一部大手で投資再開の動きはあったものの、上期並売上確保は厳しい状況

3. 継続販売方針

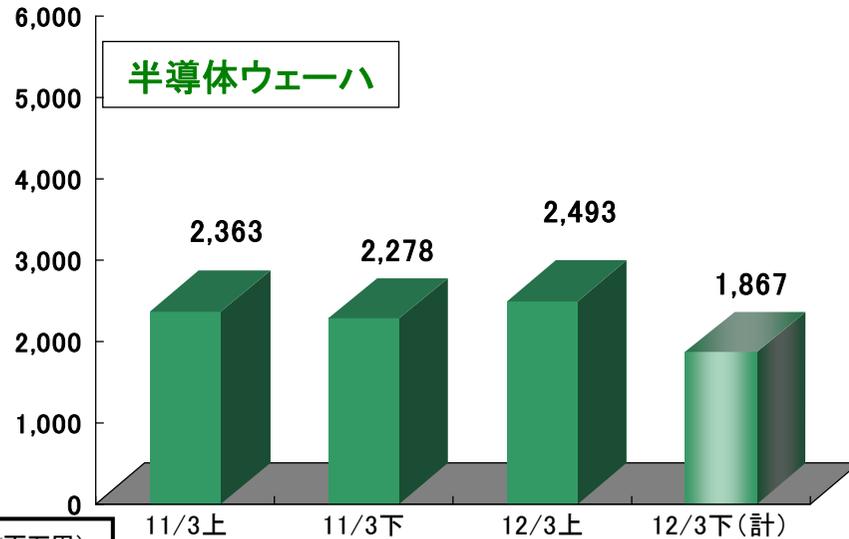
- ・Wafer回路検査治具の用途拡大
- ・米国、アジアに加え、欧州市場の新規需要家・新用途開拓営業再強化
- ・新材料開発による競争力の強化

半導体ウェーハと蒸着装置の状況と見通し



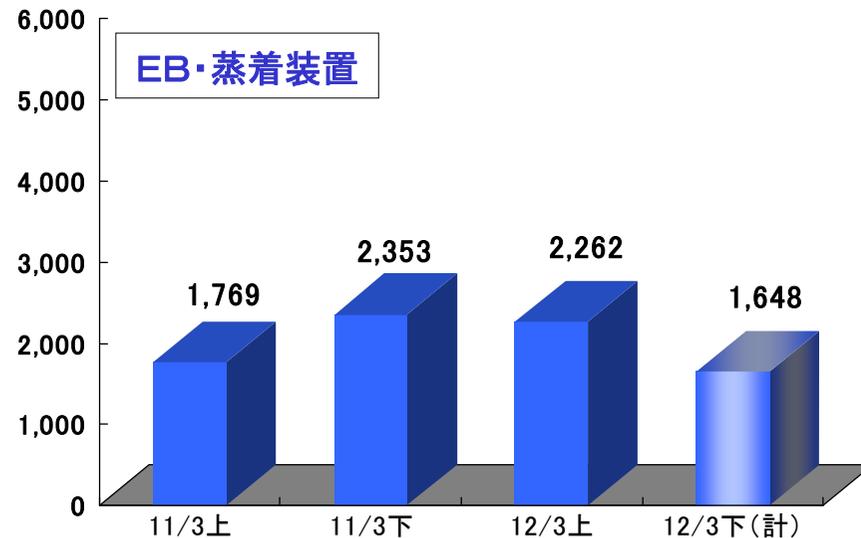
売上高の推移

(百万円)



半導体ウェーハ

(百万円)



EB・蒸着装置

半導体ウェーハ:

1. 12/3期上期の業績

- ・小口径ウェーハ需要は底堅く推移
- ・自社ブランド製品の立ち上げ。月産8万枚達成

2. 12/3期下期の見通し

- ・半導体市場9月以降急速に悪化
- ・受託先の事業売却で契約内容を交渉中
- ・自社製品中国・台湾・韓国企業での評価拡大

《施策》

- ・自社製品の製品拡大
- ・自社製品製造能力の拡大・整備

EBガン・蒸着装置:

1. 12/3期上期の業績

- ・LED用蒸着装置が好調維持

2. 12/3期下期の見通し

- ・LED:投資一巡で、中国市場向け廉価版を開発中
- ・一般産業用でコーティング力を検証中

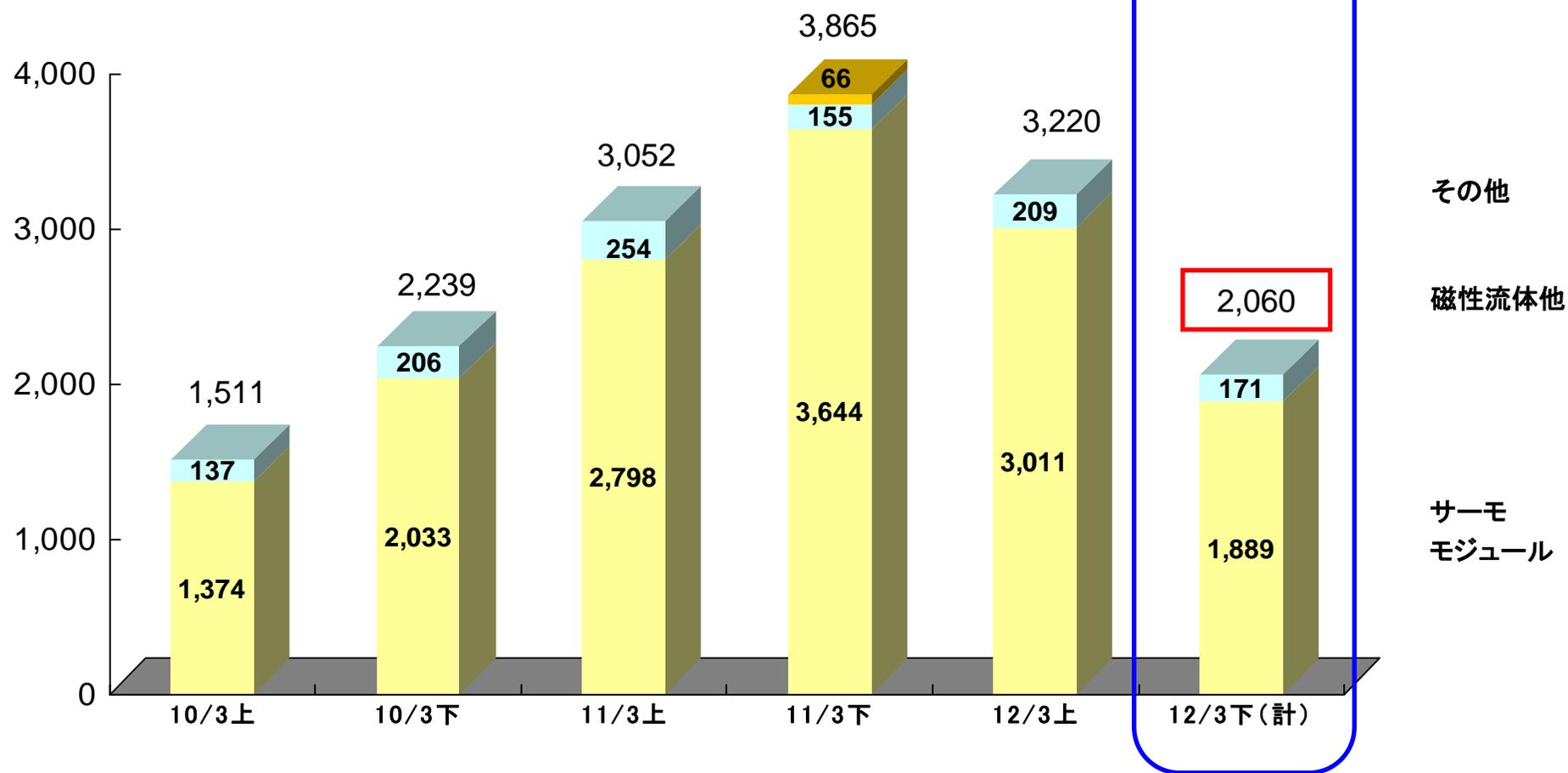
《施策》

- ・年度内に中国市場向け廉価版の開発完了を目指す

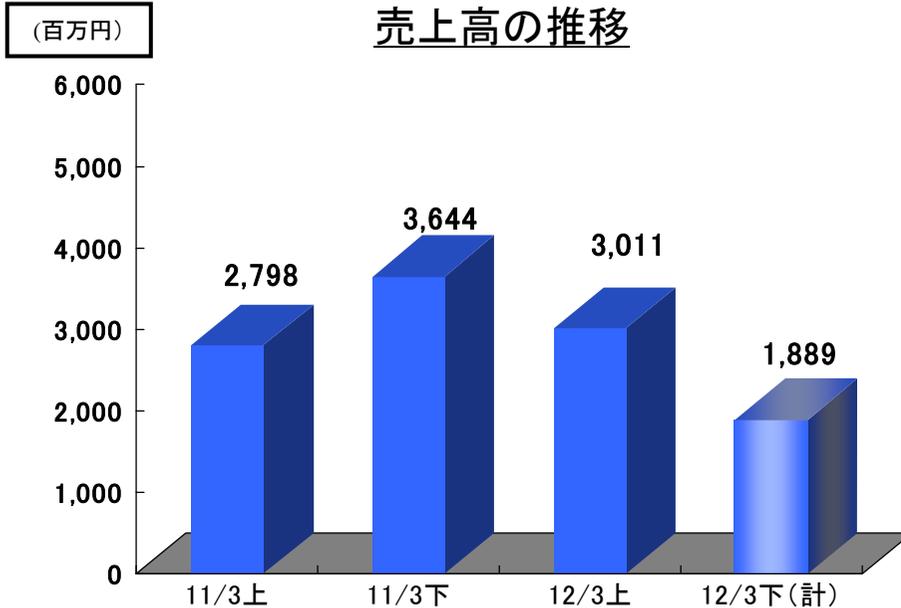
電子デバイスセグメント



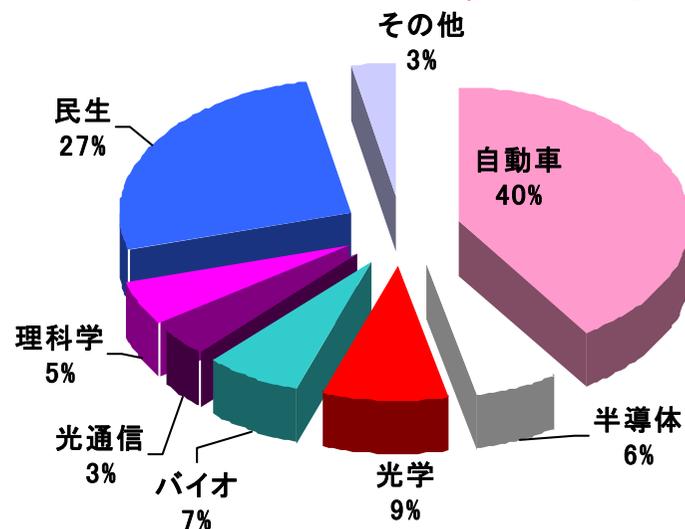
売上高
(百万円)



サーモモジュール製品の状況と今後の見通し



サーモモジュールの業種別販売先シェア



1. 12/3期上期の業績

自動車温調シート

- ・震災の影響は軽微で、堅調。

その他の産業

- ・民生用は、季節用製品が拡大し、好調。
- ・その他の各用途は、堅調で計画の通り。

2. 12/3期下期の見通し

自動車温調シート

- ・モデルチェンジによる一時的な在庫調整を見込む

その他の産業

- ・医療、バイオ機器・半導体・光学用は底堅い見込み。
- ・民生用は、季節の影響で上期より減少する見込み。
- ・光通信市場は低調だが、シェアは拡大の見通し。

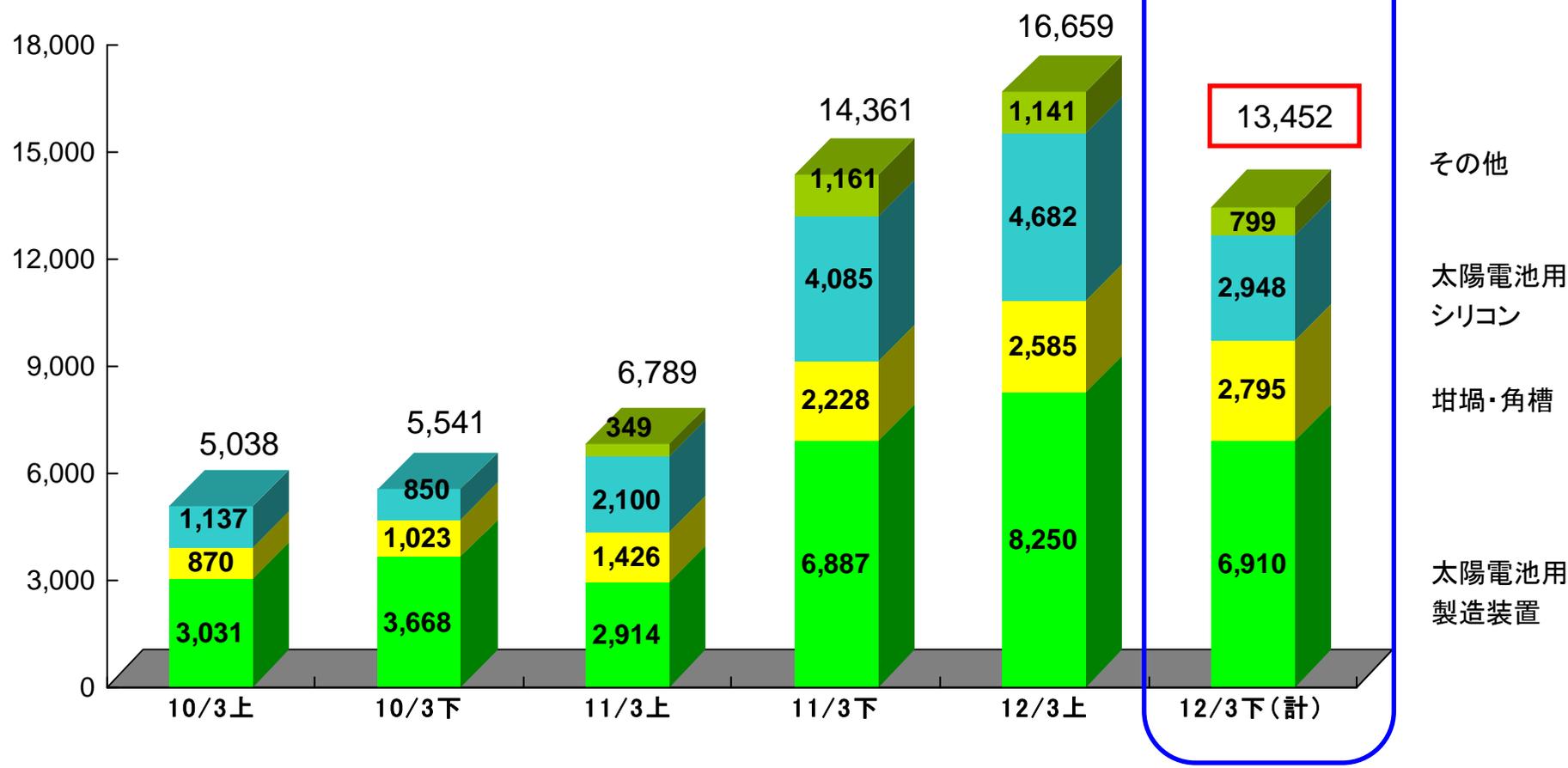
《施策》

- ・自動化ラインの追加投資完遂を目指す。
- ・光通信用は性能を向上し、ハイエンド製品を拡張。
- ・レアメタル・テルルの減量品で原料費増を吸収。
- ・パワーデバイス用基板の品質を改善し、拡販。

太陽電池セグメント



売上高
(百万円)

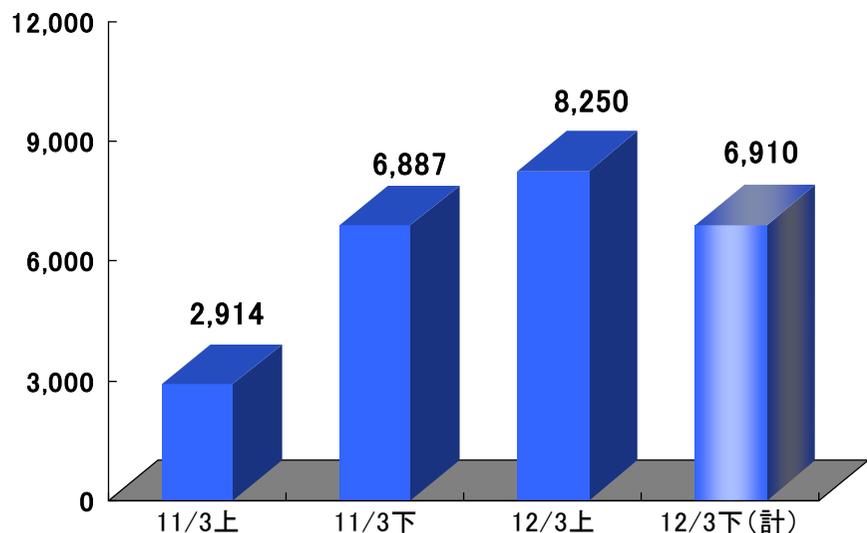


太陽電池用製造装置の状況と今後の見通し



売上高の推移

(百万円)



1. 12/3期上期の業績

- 製造能力を拡大し、客先納期要求に対応
- 順調に出荷が進み、受注も堅調に推移

2. 12/3期下期の見通し

- PV市況の悪化により製造装置納期延期の要請あり
- 引合いはあるが、実受注(前金入金)に時間を要す
- 中国政府の金融引締めの影響がある模様
特に、中小メーカーに影響あり

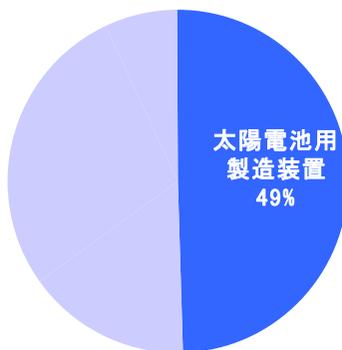
《施策》

- 顧客要求であるランニング・コスト低減の製品開発
- 省エネ・歩留まり・引上げ速度など効率化製品の投入
他社の単結晶炉・多結晶炉保有客の買換需要を促す

太陽電池セグメントに占める

売上高構成比

2012/3期 2Q



単結晶引上炉



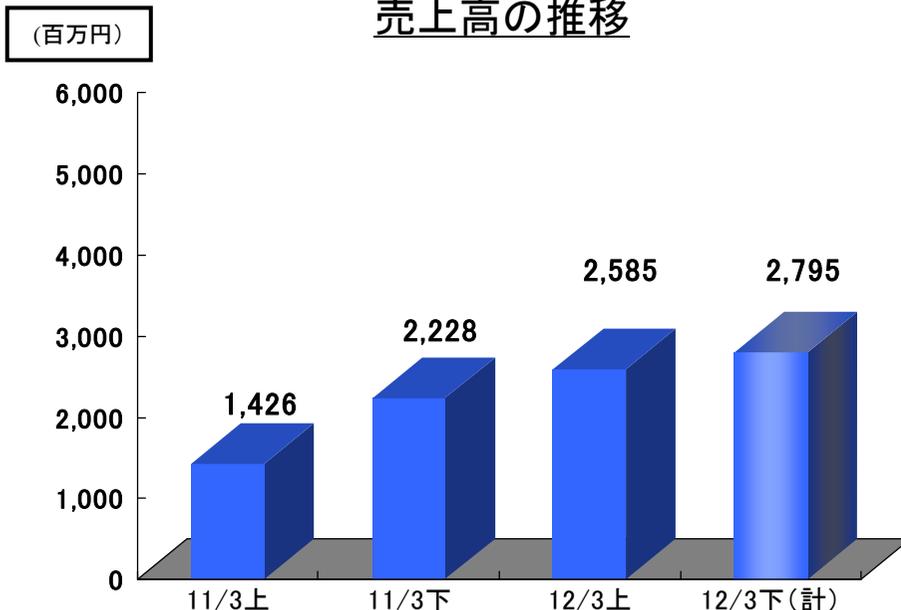
多結晶炉



角切りワイヤーソー

坩堝の状況と今後の見通し

売上高の推移



単結晶用石英坩堝

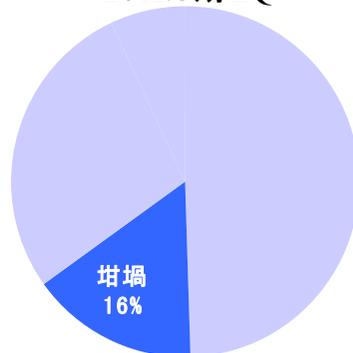


多結晶用角槽

太陽電池セグメントに占める

売上高構成比

2012/3期 2Q



1. 12/3上期の業績

- 日本・韓国・中国市場が拡大し、売上は順調に伸張
- 坩堝生産増強のため中国銀川市に新工場を着工
- 多結晶用角槽の新工場が中国杭州市に完成
- 坩堝の原材料砂が品薄状態となる

2. 12/3下期の見通し

- 坩堝は堅調・角槽はやや軟調の見通し
- 坩堝は付加価値の高い半導体用途も出荷開始
- 坩堝新工場が中国銀川市に完成
- 受注状況は、徐々に調整を見込む

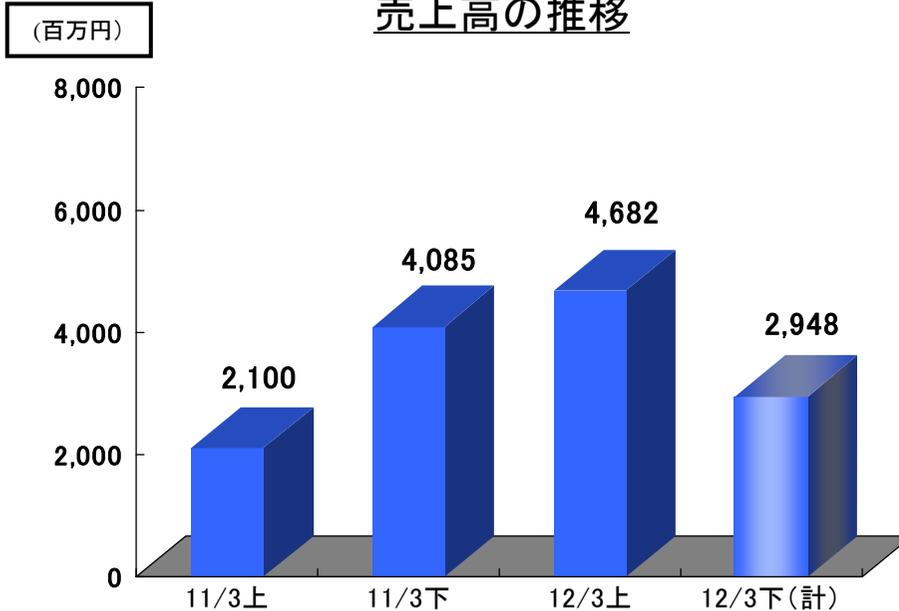
《施策》

- 銀川坩堝工場 10月より量産開始
- 杭州角槽工場 7月より量産開始

太陽電池用シリコンの状況と今後の見通し



売上高の推移



1. 12/3上期の業績

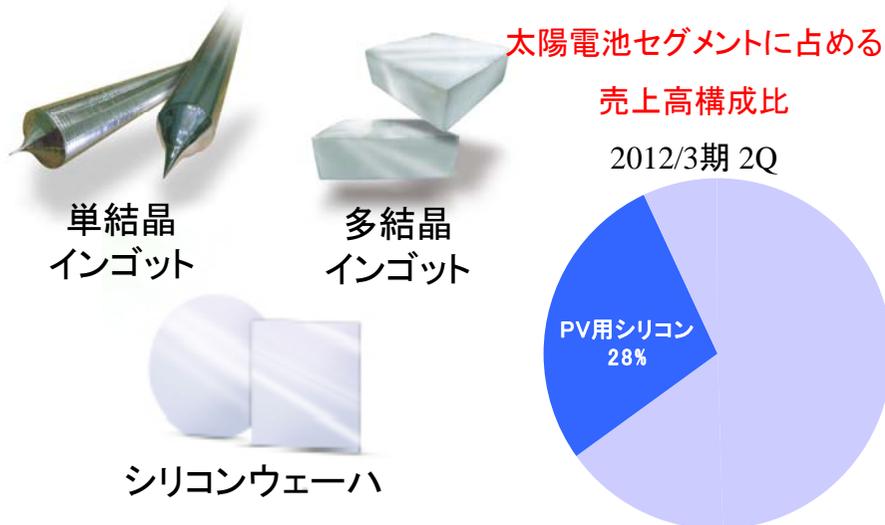
- 欧州市場の需要低迷を引き金に市場悪化
- PV用ウエーハの価格が急落
- 原材料ポリシリコンの価格が上昇から下降に転換
- 市場のセル・モジュール価格の下落が始まる
- インゴット販売は堅調に推移

2. 12/3下期の見通し

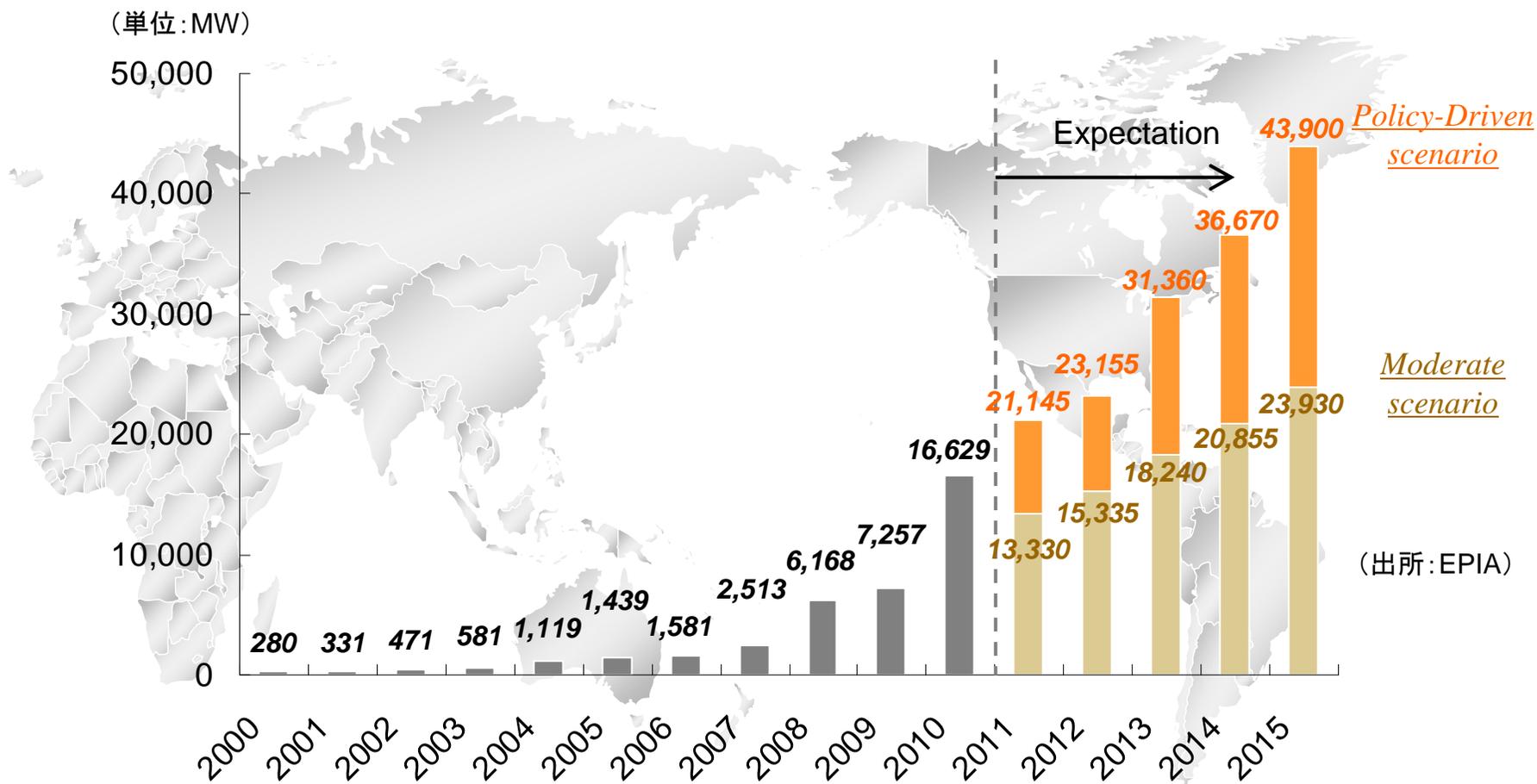
- PV用ウエーハの価格下落が継続の見込み
- 市況の悪化から多結晶の生産調整を実施
- 高変換効率品の8インチ単結晶生産に集中
- PV用セル・モジュール価格は引続き下落
- 中国市場以外への海外販売を展開

《施策》

- 市況の急速な悪化に対応するコスト改善を実施
- 台湾・インド・欧州・韓国など海外市場展開を推進



世界の太陽電池設置量推移及び予測



Moderate Scenario: 通常シナリオでの予測

Policy-Driven Scenario: 政策的に成長が加速されたシナリオでの予測